

野蒜復興新聞

25年度の活動を踏まえ 26年度新体制検討

復興部会 活動状況確認



2月4日に野蒜地区復興協議会の役員会、2月18日に復興部会が開催され、ともに26年度の協議体制について検討を行った。現段階では「高台移転部会」「復興部会」「医療福祉部会」「産業振興部会」「教育施設

部会」の5つの部会で協議・検討しているところであるが、26年度からはよりまとまった形で協議することなどが検討されている。今現在はまだ協議されている最中なので決定した時点で皆さんへお知らせする。

また、復興部会では現在まで復興部会で協議・検討してきた事項の振り返りと評価を実施した。緊急時避難道路の整備では、東名地区から中下地区へ抜ける大茂倉線、また台前亀岡線の整備が計画へ反映された。市指定避難場所の設定及び整備においては、各行政区別に協議し、順次決定してきている。

集団移転先のコミュニティセンター形成においては、対象者にアンケートを実施し、旧コミュニティを大事にした集団移転が予定されている。また「かんぼの宿」「野蒜小学校」「JR野蒜駅舎」の避難場所等の利活用は現在計画中である。防犯灯の整備や防潮堤の丁張りの設置など順次整備と設置が進められていることなどを確認、評価した。

野蒜地区集団移転先の造成工事が着実に進んでいる。野蒜地区中下から亀岡へ抜ける台前亀岡線に2つの橋がかかっているのが見える。写真手前の橋が造成地の土砂をダンプトラックで運搬するため仮橋で、奥側に見える橋が集団移転先へ移設するJR仙石線の線路である。ダンプトラックで運搬した土砂はその後ベルトコンベヤで運河の南側外に運搬する。
JR仙石線の計画が予定どおり進めば、来年27年内には新野蒜駅と新東名駅が完成し利用できる。現在はJR代行バスが運行されているものの通常2倍以上の時間がかかっており、予定通りの完成を見守っていききたい。



高台移転 画地位置決 中間報告



第11回高台移転 部会の開催

平成25年度第11回高台移転部会が2月21日に野蒜市民センターで開催された。このたびの部会では「画地位置決めの中間結果報告」、住宅等の建築に係る「まちづくりルール（案）」の検討や、「借地等に係る画地利用の考え方」の確認等を実施した。

画地位置決めの中間結果報告（自身で住宅建設希望者対象）では、現段階の画地決定世帯数は91世帯（一般画地50世帯／並び画地24世帯／旧洲崎地区12世帯／沿道商業地5世帯）、また未確定世帯は139世帯（希望画地重複世帯135世帯／抽選後割当て4世帯）となっている。今後、希望画地の意向変更結果を受けて、3月15・16日に重複世帯の抽選会を実施し、防集希望世帯の画地を決定する予定となっている。

まちづくりルール（案）については、現在までに確定したルール案と、継続協議しているルール案等を整理再確認した。また特別名勝に関連しては、26年度より集団移転先の規制等が変更されること、建築物の申請・確認は国から市に移管され期間が短縮できること、「特別名勝松島地域景観形成助成金」の詳細については4月1日号の市報にてお知らせすることなどの報告があった。また、借地等に係る画地利用の考え方、問い合わせの多かった事項等について、内容の確認をおこなった。

今回の部会では引き続き画地位置決めの結果共有と、まちづくりルール（案）を協議する予定である。



市民センター等の整備方針 ワークショップ形式で検討

高台移転先への整備が検討されている「市民センター／交流センター」の整備方針を今年度中にとりまとめるため、2月10日に野蒜市民センターで第1回ワークショップが開催された。

市民センターの各教室を利用して、約40名が参加している。ワークショップでは、市民センターの現状や交流センターに対する期待や整備内容などの意見交換を行った。例えば、市民センターでは、調理室、バリアフリー、展望台、軽食・喫茶コーナー、屋上の設置などが提案された。